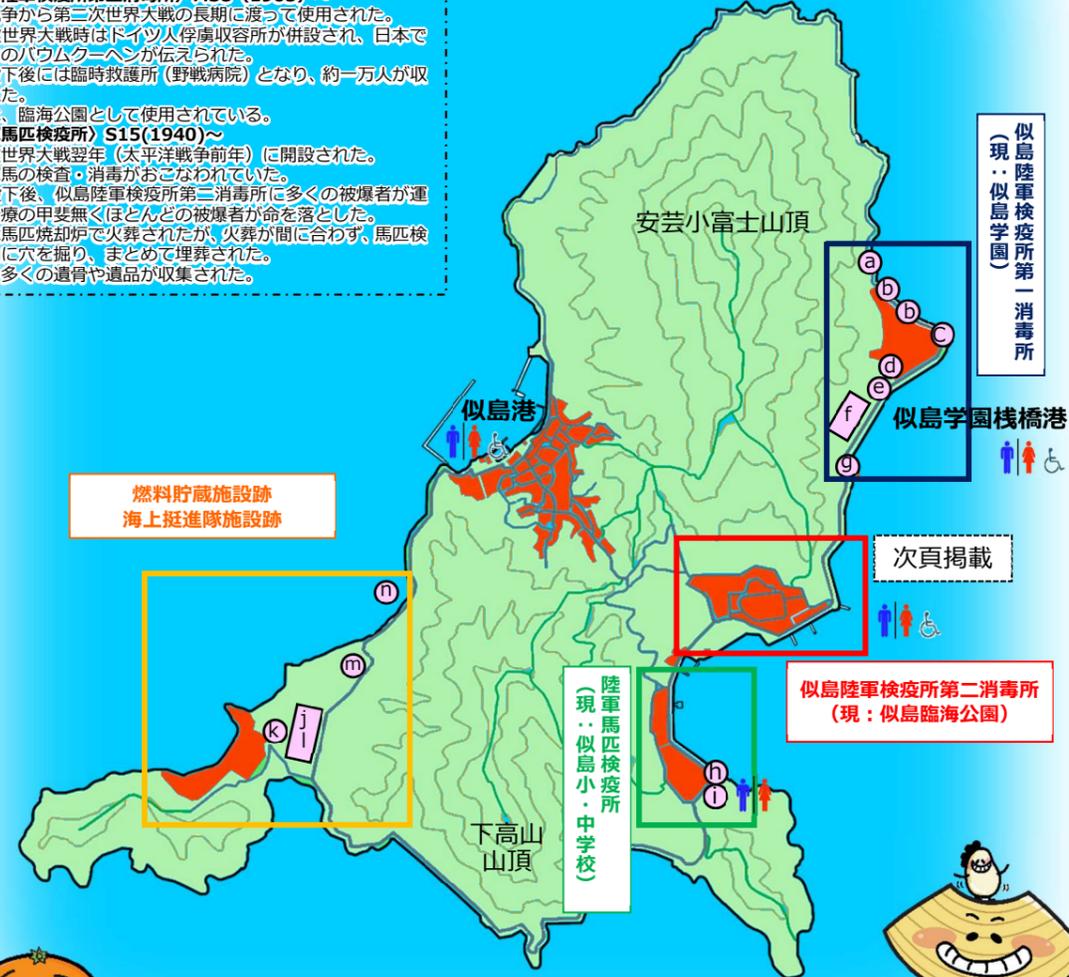
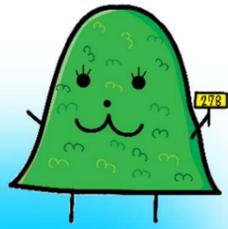


【似島陸軍検疫所について】

戦地から帰還した将兵や武器の検疫・消毒を行うための陸軍の施設。設立当時は世界最大級（東洋一）の規模を誇った。検疫所は大坂（桜島）と下関（彦島）にも設けられたが、明治～昭和の長期に渡って検疫所として使用されたのは似島が唯一といわれている。物資の消毒は蒸気による蒸気消毒とホルマリンによる薬品消毒が行われた。武器は島民も動員され、屋外でのクレゾール消毒が行われた。〈似島陸軍検疫所第一消毒所（第一検疫所）M28（1895）～〉日清戦争から帰還する兵士の検疫に使用された。その後は、海軍に移管されたり、ロシア人俘虜収容所として利用されたりした。昭和に入ってから弾薬庫となり、戦後は一部が似島学園として使用されている。〈似島陸軍検疫所第二消毒所（第二検疫所）M38（1905）～〉日露戦争から第二次世界大戦の長期に渡って使用された。第一次世界大戦時はドイツ人俘虜収容所が併設され、日本で初めてのバウムクーヘンが伝えられた。原爆投下後には臨時救護所（野戦病院）となり、約一万人が収容された。戦後は、臨海公園として使用されている。〈陸軍馬匹検疫所（現・似島小・中学校）S15（1940）～〉第二次世界大戦翌年（太平洋戦争前年）に開設された。主に軍馬の検査・消毒がおこなわれていた。原爆投下後、似島陸軍検疫所第二消毒所に多くの被爆者が運ばれ治療の甲斐無くほとんどの被爆者が命を落とした。遺体は馬匹焼却炉で火葬されたが、火葬が間に合わず、馬匹検疫所内に穴を掘り、まとめて埋葬された。戦後、多くの遺骨や遺品が収集された。



似島陸軍検疫所第一消毒所
(現・似島学園)

陸軍馬匹検疫所
(現・似島小・中学校)



【似島陸軍検疫所第一消毒所（第一検疫所）】

<p>Ⓐ 赤レンガの煙突</p>  <p>検疫所の汚染物焼却に使用された。一説にはロシア人俘虜の遺体を火葬したとの説もある。</p>	<p>Ⓑ 軍用棧橋</p>  <p>未消毒棧橋と既消毒棧橋の2つの棧橋が残る（棧橋は立ち入り禁止）。</p>
<p>Ⓒ 後藤新平の像</p>  <p>第一検疫所の創設の指揮をとった人物。戦時中に島民が建立したもの。</p>	<p>Ⓓ 弾薬庫通用門</p>  <p>弾薬庫の通用門。戦後は似島学園が貯蔵庫として使用。</p>
<p>Ⓔ 土塁の階段</p>  <p>弾薬庫を取り囲んでいる土塁に登る階段。複数現存している。</p>	<p>Ⓕ 弾薬群跡</p>  <p>弾薬庫は土塁に囲まれた中に建てられていた。現在弾薬庫は取り壊されている。</p>

Ⓖ 軍用境界石柱



陸軍弾薬庫施設地区の境界石柱。島内には複数現存している。

【似島陸軍馬匹検疫所】

Ⓖ 慰霊碑



原爆の被爆者の遺体がまとめて埋葬され、戦後多くの遺骨・遺品が収集された。

Ⓖ 慰霊の広場



平成16（2004）年の発掘調査場所。小屋には原爆資料が展示されている。

平和の散歩道

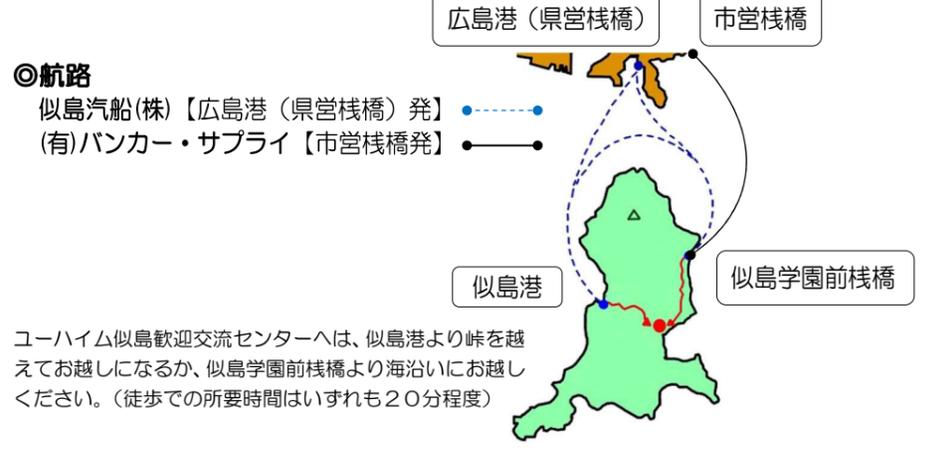
平和ウォーキングマップ
NINOSHIMA's Peace Walk Map

似島 NINOSHIMA 島



美しい山容を見せる「安芸小富士」をもつ似島は日清戦争から第二次世界大戦にかけ、多くの軍の施設が設けられました。日清戦争では第一検疫所（現似島学園）、日露戦争では第二検疫所（現自然の家）第一次世界大戦では、第二検疫所内に独逸人俘虜収容所第二次世界大戦では馬匹検疫所が設置されていました。昭和20（1945）年8月6日午前8時15分、広島に原子爆弾が投下された時には第二検疫所は臨時野戦病院となり、およそ1万人に及ぶ被爆者が運ばれました。似島は歴史上どこにも例をみない壮絶な臨時野戦病院となったのです。

アクセス



ユーハイム似島歓迎交流センターへは、似島港より峠を越えてお越しになるか、似島学園前棧橋より海沿いにお越しください。（徒歩での所要時間はいずれも20分程度）

ユーハイム似島歓迎交流センター
734-0017 広島市南区似島町字東大谷182番地 TEL 082-259-2766 FAX 082-259-2767
URL <https://ninoshima-kkc.jp/>

【燃料貯蔵施設跡・海上挺進戦隊施設跡】

<p>Ⓙ 海上挺進戦隊宿舎群跡地</p>  <p>海上挺進戦隊の宿舎が建てられていた。現在は、畑（民有地）になっている。</p>	<p>Ⓚ 高架水槽</p>  <p>海上挺進戦隊宿舎用の高架水槽。</p>	<p>Ⓛ 軍用井戸跡</p>  <p>海上挺進戦隊宿舎用の井戸。現在は、畑用の井戸として使用されている。</p>	<p>Ⓜ 軍用トンネル</p>  <p>戦後道路が整備されるまでは、陸軍が使用していたトンネル。現在は生活道として島民に利用されている。</p>	<p>Ⓨ 軍用棧橋</p>  <p>燃料貯蔵用の棧橋は3基あったが、現在は1基を残すのみとなっている。</p>
--	--	--	---	--

似島臨海公園（似島歓迎交流センター）碑・遺構マップ

① 陸軍検疫所の碑



似島臨海公園の整備に伴い建立された碑。

② 防空壕群



横穴式防空壕群〈7カ所〉。原爆投下後、第二検疫所は臨時救護所（野戦病院）となり、この防空壕も臨時の死体安置所として使用された。

③ 水門



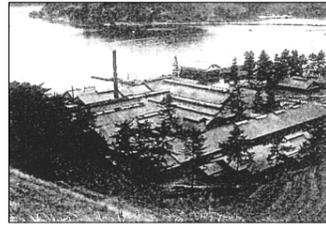
第二検疫所を囲む堀の水門跡。

似島と検疫所

明治になると、似島には陸軍の検疫所がつくられました。

日清戦争中の1895年（明治28年）に第一検疫所（現在の似島学園）、日露戦争中の1904年（明治37年）に第二検疫所（現在の似島歓迎交流センター）、第二次世界大戦中の1940年（昭和15年）に馬匹検疫所が建てられました。

検疫所というのは、戦争で海外へと出兵した将兵や軍馬が、伝染病にかかっていないかを調べたり、持ち帰った荷物を消毒したりする施設のことです。コレラ



第二検疫所

等の伝染病を国内に持ち込ませないようにするために建てられました。

伝染病に感染している疑いがある者は、帰宅することが許されず、付属の病院に隔離されました。

似島とバウムクーヘン

検疫所では、ドイツ人の捕虜たちが収容されていた時期もあり、ドイツ人の捕虜たちとは、サッカーの交流試合などがおこなわれていました。

捕虜の中に、洋菓子店「ユーハイム」創始者であるカール・ユーハイムもいました。広島県物産陳列館（現在の原爆ドーム）で開かれたドイツ人捕虜の作品展示即売会（似島独逸俘虜技術工芸品展覧会：1919.3.4）で、ユーハイムはバウムクーヘンを出品し、広島市民から大好評を得ました。

このユーハイムが作ったバウムクーヘンが、日本で初めて焼かれたバウムクーヘンと言われています。



似島陸軍検疫所第二消毒所〈第二検疫所〉

- M37(1904)年…日露戦争
- M38(1905)年…第二検疫所開設
- T3(1914)年…第一次世界大戦
- T6(1917)年…似島独逸俘虜収容所開設
- T9(1920)年…似島独逸俘虜収容所閉鎖
- S16(1941)年…太平洋戦争
- S20(1945)年…広島に原子爆弾投下
- S20(1945)年…似島臨時救護所開設（臨時野戦病院）
- S21(1946)年…厚生省に移管（厚生省似島検疫所）
- S33(1958)年…検疫所閉鎖
- S59(1984)年…似島臨海少年自然の家開設
- S60(1985)年…似島臨海公園開設

④ 第三軍用棧橋



明治38年に作られた軍用棧橋。検疫後に帰還するための棧橋で、既消毒棧橋ともいう。

⑤ 第二軍用棧橋



明治38年に作られた軍用棧橋、検疫前に上陸するための棧橋で、未消毒棧橋ともいう。

⑥ 第一軍用棧橋



昭和の時代に作られた軍用棧橋。検疫前に上陸するための棧橋で、未消毒棧橋ともいう。

⑦ トロッコレール



第二検疫所内に設置されていたトロッコレール。

⑧ 宇品線のプラットホーム



宇品線の船舶司令部に設けられていたプラットホーム。長さ563mあり、当時日本最長であった。

⑨ 原爆被爆者診療の地の碑



第二検疫所に配属されていた暁部隊、第6165部隊の隊長である西村幸之助氏ほか生存者によって建立された碑。

⑮ ドイツ菩提樹



第一次世界大戦時、第二検疫所には似島独逸俘虜収容所が併設されていた。日本とドイツの友好の証として、ドイツから送られた菩提樹。

⑭ 検疫所の井戸



陸軍第二検疫所の井戸。伝染病舎用の井戸と思われる。原爆投下後には被爆者の治療、末期の水として使用された。平成23年より平和記念式典の献水として使われている。

⑬ クスノキの大木



陸軍第二検疫所開設時からのクスノキの大木。

⑫ 馬匹焼却炉



陸軍馬匹検疫所の焼却炉。600m南の住宅用地より発掘され移設された。軍馬を解体処理するための焼却炉。この焼却炉から推定1,000人分の遺骨が収集された。

⑪ 検疫所の堀と送水管



第二検疫所開設時の堀の跡。高架水槽に送水する送水管。

⑩ 高架水槽跡



第二検疫所に使用する水を貯水していた高架水槽跡。

似島と原爆

検疫所では、終戦まで検疫の仕事は続けられていましたが、戦局が悪くなった第二次世界大戦末期（太平洋戦争末期）につれて帰還兵が少なくなり、やがて検疫の仕事はほとんど行われなくなってきました。

広島に原爆が投下された際には、負傷者のための臨時救護野戦病院となりました。似島の検疫所には、約5,000人

分の医薬品等の蓄えがあったとされ、原爆投下直後から20日間の間に約1万人の負傷者が運び込まれ、薬は4日後には底をつき、ほとんどの被災者は亡くなったとされています。

戦後、原爆で亡くなられた方のものと思われる遺骨や遺品が大量に発掘されました。



音声ガイドあり（QR読み取り）



説明文看板あり